

# リモコンエンジンスターター **CTB-801R**

Minimum Remote Control adoption Engine Starter.

送信距離：見通し最大3,000m（市街地最大700m）

## 取扱説明書

### 目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| ■ 安全上のご注意 .....          | 1  |
| ■ 本機の特長 .....            | 5  |
| ■ 梱包内容 .....             | 9  |
| ■ 各部の名称 .....            | 10 |
| ■ 取付け方法 .....            | 12 |
| ・重要 オートセーフティ学習機能 .....   | 17 |
| ■ ご使用にあたって .....         | 21 |
| ■ リモコン電池の交換方法 .....      | 22 |
| ■ リモコン設定機能 .....         | 23 |
| ■ リモコン操作無効機能 .....       | 28 |
| ■ リモコンの取扱い上の注意 .....     | 28 |
| ■ エンジンの始動・停止操作 .....     | 29 |
| ■ イモビライザー機能 .....        | 30 |
| ■ ハザードチェック機能 .....       | 33 |
| ■ リモコンドアロック機能 .....      | 34 |
| ■ ドライブセーフティドアロック機能 ..... | 35 |
| ■ コールバック機能 .....         | 36 |
| ■ スリープ機能 .....           | 37 |
| ■ 修理・点検時の扱い方 .....       | 37 |
| ■ 故障かな？と思ったら .....       | 38 |
| ■ アフターサービスについて .....     | 41 |

## ご購入上げ頂いたお客様へ

この度は、セルスター リモコンエンジンスターターをお買い上げ頂きありがとうございます。「CTB-801R」の取り付け、取り扱いにおきましては、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

|                                                                                  |           |                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>危険</b> | 誤った取扱いをすると「死亡または重傷を負うなど可能性が切迫して想定される」内容です。                                     |
|  | <b>警告</b> | 誤った取扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。                                         |
|  | <b>注意</b> | 誤った取扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害※の発生の可能性が想定される」内容です。※物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。 |

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

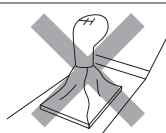
|                                                                                   |                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
|  | この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、文章で示します。  |
|  | この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、文章で示します。     |
|  | この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、文章で示します。 |

## お取付けできないお車があります

- ❗ 本機は国産12V仕様オートマチック車専用の製品です。  
※外国車、24V仕様車、マニュアルミッション車への取付けはできません。
- ⊘ イグニッションキーでのエンジン始動時、アクセル操作やチョークレバー操作を必要とする車への取付けはできません。  
※電子制御燃料噴射装置付の車専用です。
- ⊘ キーフリーシステム装備車、スマートキー装備車への取付けはできません。
- ⊘ 本機は当社「車種別専用ハーネス適合表」に記載されている適合車種にのみ取付可能です。それ以外の車種への取付けはできません。
- ⊘ ホンダ車の雨滴感応ワイパー装備車への取付けはできません。
- ⊘ 1989年5月以前で、シフトロック機構の付いていない車(フットブレーキを踏まずにシフトレバーを「P」から動かせる車)には使用できません。  
※思わぬ事故の原因となります。

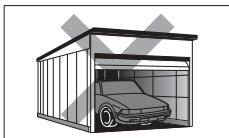
**外車**

**24V**



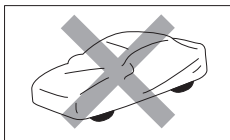
### 危険

- ⊘ 換気の良くない場所(ガレージ・駐車場)などでは絶対にご使用にならないでください。  
※排気ガス中毒の原因となります。
- ⊘ お子様やペットを車内に乗せたままでご使用にならないでください。  
※排気ガス中毒や事故の原因となります。

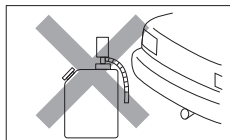


## ⚠ 危険

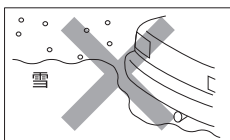
- ⊘ ボディーカバーをかけたままご使用にならないでください。  
※爆発や火災の原因になります。



- ⊘ 灯油、ガソリンなどの引火性のある物の近くでご使用にならないでください。また、火中に投入しないでください。※爆発や火災の原因になります。

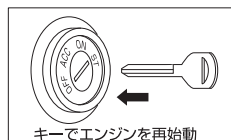


- ⊘ 排気管が隠れる程の降雪時や積雪状態でご使用にならないでください。  
※排気ガス中毒や事故の原因となります。



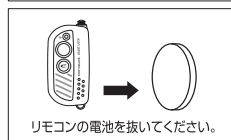
## ⚠ 警告

- ❗ 走行するときは、リモコンでいったんエンジンを停止させてから必ずキーでエンジンを再始動させてください。  
※思わぬ重大事故の原因になります。



- ❗ 本機を使用する際には、シフトレバーはパーキング(P)の位置でパーキングブレーキを必ずかけてください。  
※車の暴走事故の原因となります。

- ❗ 坂道や傾斜面でのご使用や冬期にパーキングブレーキを解除してご使用になるときは、必ず輪止めをしてください。  
※車の暴走事故の原因となります。



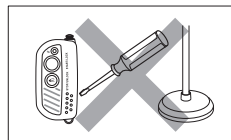
- ❗ 自動車整備などでボンネットを開けて作業をする場合、突然エンジンが始動しないように、リモコン操作無効設定するか、リモコンの電池を抜いてください。  
※誤動作による事故の原因になります。

- ⊘ 車を整備・修理・車検などで預けたり、本機の取扱い方を知らない方が運転する場合、リモコン操作無効設定をするか、リモコンの電池を抜いてください。  
※誤動作による事故の原因となります。



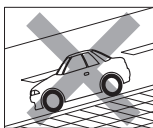
- ❗ リモコンは、取扱い方法を知らない方やお子様の手の届かない所ベツトがいたずらしない場所に保管してください。  
※誤動作による事故の原因になります。

- ⊘ 分解・改造はしないでください。修理などは当社お客様相談窓口にご相談ください。  
※発熱・発火・破損の原因となります。



## ⚠ 注意

- ❌ 道路など公道上では使用しないでください。必ず安全の確保できる駐車場など私有地で使用してください。  
※公道上は道路交通法違反となります。



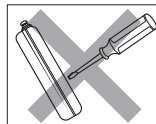
- ❗ 走行中に本機の操作をしないで下さい。  
※事故の原因となります。



- ❌ 本機は日本国内での使用を目的に生産されています。海外での使用は、当事国の法律により罰せられます。  
※各国の法律により罰せられます。



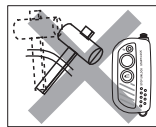
- ❌ 本機は特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けており、分解や改造は電波法で禁止されています。  
※工事者は電波法により罰せられます。



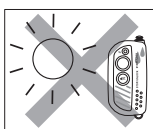
- ❌ 本機に貼付されてる技術適合ラベルをはがしたり、適合ラベルの無いものの使用は法律で禁じられています。  
※使用者が電波法により罰せられます。



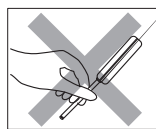
- ❌ 本機を床に落としたり硬いものにぶつけたりしないでください。また「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。  
※変形・故障の原因になります。



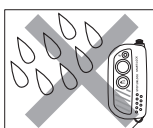
- ❌ リモコンを直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど極端に高温になる場所で保管または使用しないで下さい。  
※変形、変色、故障の原因になります。



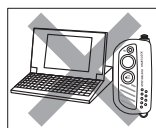
- ❌ リモコンのアンテナに強い力がかかるような持ち方をしないでください。また送信中にリモコンのアンテナに触れないでください。  
※変形・破損・故障の原因や電波通信距離が短くなります。



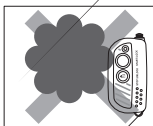
- ❌ 本機を水のかかる場所や湿気の多い場所で保管または水につけたり、水をかけたり、ぬれた手で絶対操作しないで下さい。  
※火災や感電、故障の原因となります。



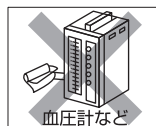
- ❌ 本機を無線機やテレビラジオ、パソコン等の近くで使用しないでください。  
※電波障害の原因になります。



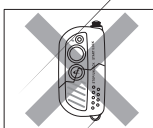
- ❌ 煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないで下さい。  
※発火して火災の原因となります。



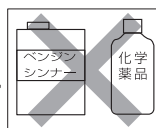
- ❌ 医療用電気機器の近くでは使用しないで下さい。  
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。



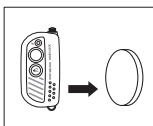
- ❌ 万が一、故障した場合は直ちに使用を中止して下さい。  
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。



- ❌ 本機のお手入れにベンジンシンナーなど化学薬品は使用しないでください。  
※変形・変色・故障の原因になります。  
※水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を絞って拭いてください。



- ❗ 長期間使用しないときはリモコンの電池を抜いてお子様の手の届かない所に保管してください。  
※故障や事故の原因になります。



## ⚠ 注意

- ⊘ 本機を他のエンジンスターターやターボタイマーと併用しないでください。  
※故障や誤作動の原因になります。
- ⊘ セーフティシステムを確実に作動させる配線設定は、必ず行ってください。  
思わぬ事故の原因となります。
- ⊘ 本機の取付けに関しては、必ず当社「車種別専用ハーネス適合表」をご確認の上、確実に取付けてください。
- ⊘ エアバッグの近く、運転や視界の妨げになる場所へは取付け、配線を行わないでください。  
※誤った取付けは、交通事故、思わぬケガの原因となります。
- ❗ オートライトコントロール装備車に使用する場合、必ずライトスイッチを「OFF」にしてください。  
※バッテリー上がりの原因になります。  
※「AUTO」の位置で本機によるエンジン始動及びアフターアイドルングを行なうとエンジン停止後ライトが点灯したままになります。  
※コンライトシステム（暗くなるとライトが点灯し、エンジン停止後ドアの開閉でライトが消灯するシステム）も同様です。
- ❗ 本機の取付けの際は必ず、お車のバッテリーの➡ マイナス端子を外してから、作業を行ってください。  
また、その際にはお車の電装品（時計やオーディオなど）の設定が変わったり、初期状態になることがありますので、本機の取付けが終了した後に、再度設定してください。
- ⚠ 本機リモコンは生活防水仕様ですが、水につけたり、水をかけたり、ぬれた手では絶対操作しないでください。  
※火災や感電、故障の原因となります。
- ⚠ 純正リモコンドアロック（キーレスエントリー含む）装備車は、本機取付け後、本機が動作中に純正リモコンドアロックシステムが作動しない場合があります。
- ⚠ 一部の車種において、車両のキーリモコンでドアロック操作をした場合、本機のリモコンドアロック機能が使用できなくなる場合があります。
- ⚠ オートチルト、マイコンプリセットステアリング（シート含む）装備車は、エンジン始動した状態でキーを差し込んだ場合、これらの機能が作動しくなりますので、キーで再始動してください。
- ⚠ 一部の車種では本機搭載のリモコンドアロック機能を使用することができません。詳しくは当社「車種別専用ハーネス適合表」をご覧ください。
- ⚠ 本機搭載のイモビライザー機能は、車両盗難等に対して完全に防止できるということはありません。万が一、車両盗難等の被害があった場合でも、弊社ではその責任を一切負いかねます。
- ⚠ お車のバッテリーを取外した時などは、オートセーフティー学習機能や、リモコンによる各設定内容の再設定が必要になります。
- ⚠ 本機の取付けにつきましては、専門的な知識を必要としますので、お買い求めになった販売店などでの取付けをおすすめいたします。
- ⚠ 車にセキュリティシステムが装備されている場合、そのセキュリティシステムによって本機が使用できない場合があります。使用の可否については装備されているセキュリティシステムのメーカーへお問い合わせ下さい。
- ⚠ 取付けの際は必ずアースコードの接続を確実に行ってください。アースコード接続が不完全ですと本機の動作が不安定になり大変危険です。リモコンによるエンジン始動が行われない、突然エンジンが止まる、走行中に突然本機が動作を始めるなど予期せぬ事故や故障の原因にもなりかねません。誤動作を防止するために必ず完全にアースコードを接続してください。
- ⚠ むやみにリモコンのボタンを操作しないで下さい。また、短期間であっても使用しない場合にはリモコン操作無効設定を行ってください。意図せずエンジンが始動するなどの場合があります。
- ⚠ 本機の電波通信距離は、地形や天候、使用状況や周囲の状況その他により変化します。電波通信距離内であっても、通信距離が極端に短くなる場合があります。
- ⚠ 本機付属の電池は、取付け後の動作確認用です。実際の使用時には新しい物と交換してください。
- ⚠ 本機の誤った取扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害等が発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。また、補償なども一切ありません。

# 本機の特長

## ◆リモコン エンジンスターターって何？

### ◇リモコンでエンジン始動・停止!快適ドライブの必需品

リモコンによる遠隔操作でお車のエンジン始動・停止ができます。"寒い朝や真夏の暑い日"お出かけ前の車内は快適状態。"マリンスポーツやウィンタースポーツ"時にも最適です。

## ◆使って納得の 便利機能

### ◇送信距離:見通し最大3,000m(市街地最大700m)

### ◇3モードアイドリング

お客様の使用環境に合わせて、リモコン操作によりアイドリング時間を選択することができます。

15分モード・通常使用(標準設定)のモードです。

30分モード・気温が25度前後の時期、最低気温5℃前後の時期。また、東北・北陸などの降雪地域での冬季使用に適したモードです。

45分モード・気温が30度以上の時期、最低気温0℃以下の時期。また、北海道やその他の豪雪地域、寒冷地での冬季使用に適したモードです。

### ◇セルモーター学習機能

エンジン始動時のセルモーターの動作時間を学習し、適正な動作時間で動作させます。これによってより確実に、より簡単な取付けが可能となりました。

### ◇セルモーター動作時間設定

リモコン操作により、エンジン始動時のセルモーターの動作時間を約0.3秒延長または、約0.5秒延長させることができます。

### ◇フルオートターボタイマー機能

走行時間に合わせてアフターアイドリング時間を「自動設定するオート」と「1分の時間固定」「ターボタイマーオフ」の3パターンをリモコン操作により選択・設定できます。

### ◇リモコン設定機能

3モードアイドリングの選択設定、フルオートターボタイマーの動作設定、ドライブセーフティドアロック機能の設定、セルモーター動作時間設定が、リモコン操作で行うことができます。

## ◆安全と防犯を考えた 安心&セキュリティ

### ◇イモビライザー機能解除・ドアアンロック操作履歴機能

イモビライザー機能の解除操作、ドアアンロック(解錠)操作について、リモコンの操作履歴を残します。この履歴で離れたお車に、イモビライザー機能の解除操作や、ドアアンロック(解錠)操作を行った事を確認することができます。

## 本機の特長

### ◇セーフティシステム

#### ●オートセーフティ学習機能

マイコンがシフトポジションを自動的に認識し、「P」または「N」以外の位置では本機でエンジンを始動させることはできません。また、本機でエンジンを始動させている時に「P」または「N」以外の位置にシフトレバーを動かすと、エンジンを強制停止させます。これにより、面倒だった各安全装置の配線、取付け作業が不要となり、不用意なシフトレバーの操作や各安全装置の誤作動も解消し安全性・信頼性が格段に向上しました。

#### ●ブレーキ検出

ブレーキ検出線をサイドブレーキに配線した場合、サイドブレーキが解除されている状態ではリモコンによるエンジン始動ができません。また、サイドブレーキを解除するとエンジンは停止します。フットブレーキに配線した場合には、フットブレーキを踏むとエンジンは停止します。

#### ●ボンネットオープンストップ機能（オプション ボンネットセンサー使用時）

ボンネットが開いていると、リモコンによるエンジン始動はできません。

#### ●アイドリングブザー機能

本機の動作中に本体から約5秒間隔で「ピー」という音が鳴り、本機が動作中であることをお知らせします。

### ◇セルモーター誤作動防止回路内蔵

リモコンでエンジンを始動し、アイドリング中に誤ってキーをスタートの位置まで回しても、セルモーターは動作せずセルモーターの焼き付きや破損を防ぐことができます。

### ◇スリープ機能

お車の使用が14日間無い場合には、自動的にスリープモードに入ることによって消費電力を抑え、車載バッテリーのバッテリー上がりを防止します。

### ◇キーコントロール学習機能

キー操作でエンジンを始動する場合と同じ手順（ACC→IG1→IG2→ST1→ST2などの順番）をマイコンが記憶して、リモコンによるエンジン始動時にそれを再現することで車の各装置の誤作動（ABSランプの点灯など）が防止できます。

### ◇イモビライザー機能

リモコン操作でイモビライザー機能を解除しない限り、お車のキーでもエンジンを始動させる事ができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。別売のドアロック用オプションを使用すると、ドアロックに連動して設定解除する事ができます。

### ◇リモコン操作無効機能

リモコン操作を無効にする事ができるので、カバンやポケットの中で不意にボタンが押され突然エンジンが始動するなどの思わぬトラブルを未然に防ぐ事ができます。

# 本機の特長

## ◆あったらいいなの充実オプション

- ◇**ドライブセーフティドアロック機能**(ドアロック用オプション使用時)  
シフトレバーを「P」以外の位置にすると自動的にドアロック(施錠)し、エンジンを停止すると自動的にドアアンロック(解錠)します。
- ◇**リモコンドアロック機能**(ドアロック用オプション使用時)  
本機によるアイドリング中は純正キーレスリモコンでドアロック操作する事ができない車種があります。このリモコンドアロック機能を使用する事でアイドリング中でも、本機のリモコンでドアロック・アンロックができます。
- ◇**ハザードチェック機能**(ハザードアダプター使用時)  
エンジン始動操作・停止操作後、リモコン操作によりエンジンの状態をお車のハザードランプの点滅で確認できます。また駐車場などでこの機能を使用すると、お車を見つける場合にも便利です。
- ◇**コールバック機能**(ハザードアダプター使用時)  
本機リモコンからのドアロック(施錠)操作時、お車のハザードランプを1回点滅アンロック(解錠)操作時2回点滅させて、動作した事をお知らせします。
- ◇**イモビライザー装備車対応**(イモビライザー車用アダプター使用時)  
お車に純正イモビライザーシステムが装備されていても、オプションのイモビライザー車用アダプター(PC-807IA)を使用する事で、本機を使用していただくことができます。※別途、エンジンの始動ができるイモビライザーキーなどのスペアキーが必要です。

## ◆サポート機能

- ◇**安心・3年保証**  
本機をお買い求め頂いた日から、3年間の動作保証をご提供致します。(取扱説明書に従い、正しく安全にお使い頂いている場合に限られます。また、リモコン電池等の消耗品は除きます。)
- ◇**スリートライ機能**  
1回目のエンジン始動動作でエンジンが始動しなかった場合、最大3回まで自動でエンジン始動動作を繰り返します。
- ◇**ディーゼル車対応**  
ディーゼル車にも安心してお使い頂けるように、グロータイムを約5秒に設定しました。(一部のディーゼル車には取付できません。詳しくは当社「車種別専用ハーネス適合表」をご覧ください。)
- ◇**個別IDコード採用**  
個々の製品に独自のIDコードを割り当ててある為、他の電波による誤動作などを防止できます。

# 本機の特長

## ◆オプション（別売）

### ◇ドアロック用オプション

ドライブセーフティドアロック機能、リモコンドアロック機能を使用する際に必要です。

#### ●ドアロックコード PC-808DC

ドアロック用配線です。

#### ●ドアロックアダプター PC-809DA

ドアロック用アダプターです。

#### ●多重通信車用ドアロックアダプター PC-810MA

トヨタ車の多重通信システム装備車用ドアロックアダプターです。

### ◇イモビライザー車用アダプター PC-807IA

イモビライザー装備車に本機を取付ける際に必要となります。

※別途、エンジンの始動ができるイモビライザーキーなどのスペアキーが必要です。

### ◇ハザードアダプター PC-804HA

ハザードチェック機能、コールバック機能を使用する際に必要となります。

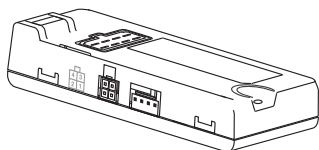
### ◇ボンネットセンサー CTB-P6

ボンネットオープンストップ機能を使用する際に必要となります。

# 梱包内容

取り付け前に必ず梱包セットの内容をご確認ください。

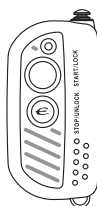
## 本体



セーフティシステム用配線  
(4ピンコネクター付き)



## リモコン



リチウム電池 (CR1616)  
※リモコン動作確認用

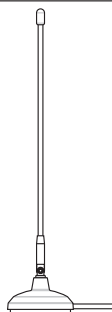


エレクトロタップ

×2



## 車載アンテナ

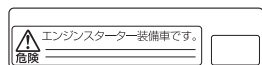


インシュロックタイ

大×2  
小×3



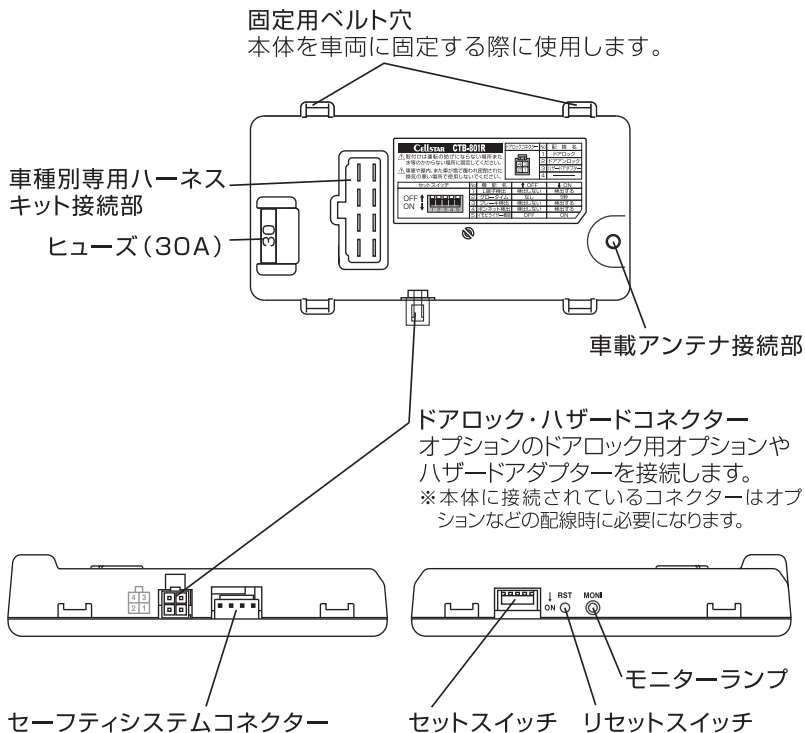
「⚠ 危険」ステッカー



本書 (取扱説明書)、保証書

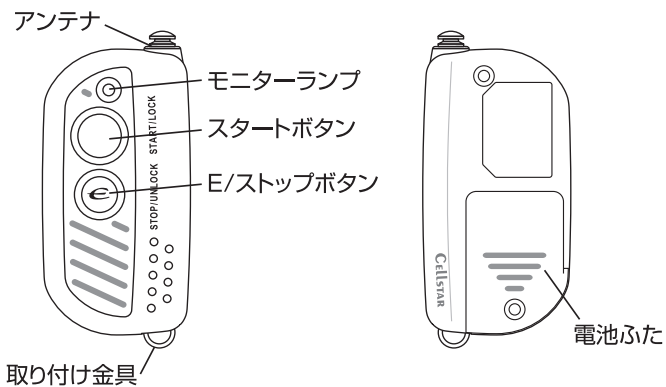
# 各部の名称

## 本体

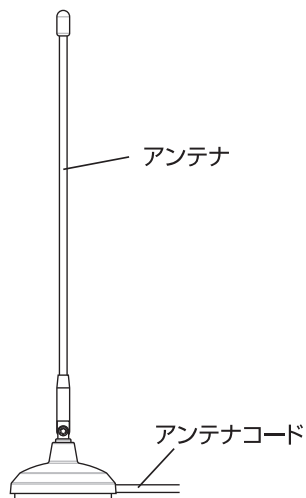


## 各部の名称

### リモコン



### 車載アンテナ



# 取付け方法

取付ける前に下記の点に注意して、本機を取付けを行ってください。

## お取付けについて

### ⚠ 注意

取付けには車種にあった車種別専用ハーネスキットが必要になります。当社「車種別専用ハーネス適合表」で専用のハーネスキットをお買い求めの上お取付けください。

※車種別専用ハーネス適合表に記載されていない車種についてはお取付けできません。

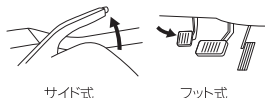
### ⚠ 警告 — 安全に作業をしていただくために —

ここに記載された注意事項は取付け配線作業をする方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大なことです必ず守ってください。

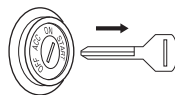
①シフトレバーをパーキング  
(P)の位置)にする。



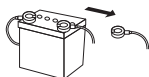
②パーキングブレーキを確実に  
にかける。



③キーを抜きます。



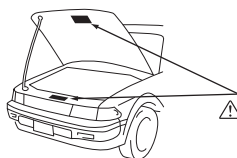
④ショート事故防止のため、バッテリーの⊖マイナス端子をはずしておきます。



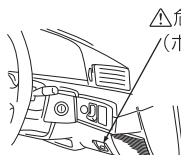
⚠ 車に搭載されているコンピューターの関係で⊖マイナス端子がはずせない場合は配線作業に十分気を付けてください。

### 「⚠危険」ステッカーを貼り付けてください。

本機を取付けた車を第三者が使用した場合に安全を確保するため、付属の危険ステッカーを目に付きやすい場所に必ず貼り付けてください。



⚠危険ステッカー (大)



⚠危険ステッカー(小)  
(ボンネットオープナー)

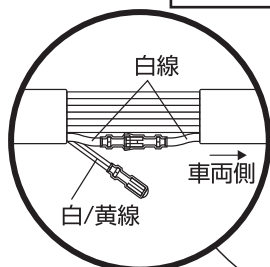
# 取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

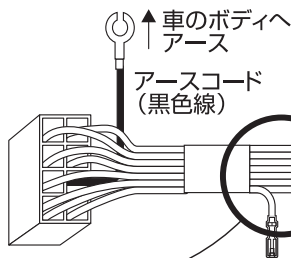
## 基本接続図

### 車種別専用ハーネスキット (別売)

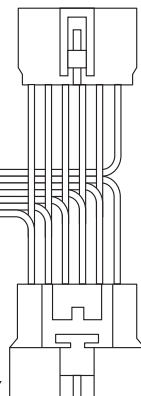
車のキースイッチ側  
のコネクターへ ↑



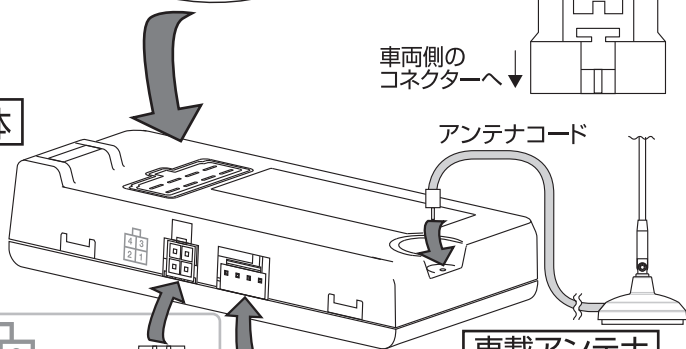
※修理・点検時に処理する  
コードです。



車両側の  
コネクターへ ↓



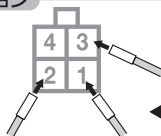
### 本体



アンテナコード

### 車載アンテナ

### オプション



※本体からドアロックコネクターを  
取り外して、オプションの各コード  
を差し込んでください。  
(詳しくは、各オプションの配線  
説明書をご参照ください。)

2  
1  
3

2. ドアロック用オプション/アンロック (黄/黒)
1. ドアロック用オプション/ドアロック (青/黒)
3. ハザードアダプター (紫)

※番号はコネクター番号になります。

セーフティシステム  
用配線

### オプション

- イモビライザー車用アダプター (桃)
- ボンネットセンサー (橙)
- ブレーキ検出 (灰)
- L端子検出 (緑)

## 取付け方法

作業上わからないことや、ご不明な点がございましたら、最寄のお客様相談窓口またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

### FAX情報サービス

※配線に困ったら、FAX情報サービスをご利用ください。

取付け作業のお手伝い  
FAX情報サービススタート!!



**おたすけ箱 24時間受付対応!!**

# 046-275-1171

車種別情報No.リスト(目次)より



ハーネス適合表のFAX情報No.より



接続作業が終わり、本体に電源が入ると本体から「ピピッ、ピピッ…」と音が鳴ります。オートセーフティ学習機能の設定、またはブレーキ検出の接続・設定を行ってください。

# 取付け方法

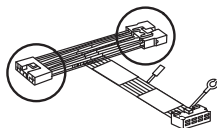
本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

## 車種別専用ハーネスキットを接続します。

車のキースイッチから出ている配線の最初のコネクターを探してください。

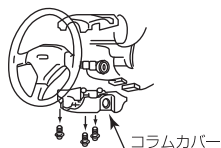
コネクターは基本的に車種別専用ハーネスキットのコネクターと同形状ですので○印部を参考にして下さい。

※車種によりハーネスキットの接続する位置が異なります。



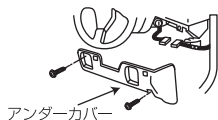
A. キーシリンダー直付け、もしくはキーシリンダー裏から直接コードが出ている場合

大部分の車はこのタイプです。接続するにはコラムカバーをはずしてから行います。

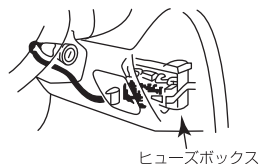


B. アンダーカバー内にある場合

接続するには、ダッシュボードのアンダーカバー内からコネクター部を引き出します。



C. アクセルペダルの横か上にあるヒューズボックス部にある場合



## 本体セットスイッチの設定



スイッチは  
上側が…↑OFF  
下側が…↓ON  
になります。

### 1. L端子の配線

- 配線しない場合……………↑OFF
- 配線する場合……………↓ON

### 2. 取付けた車のエンジンの選択 (グロータイムの設定)

- なし(ガソリン車の場合)…↑OFF
  - 5秒(ディーゼル車の場合)…↓ON
- 注意: クイックグロータイプの車はOFF↑に設定してください。

### 3. ブレーキ検出

(パーキング/フットブレーキに配線する場合)

- 配線しない場合……………↑OFF
- 配線する場合……………↓ON

### 4. ボンネット検出

(ボンネットセンサー(別売)を配線する場合)

- 配線しない場合……………↑OFF
- 配線する場合……………↓ON

### 5. イモビライザー機能

- イモビライザー機能OFF…↑OFF
- イモビライザー機能ON…↓ON

※数字はスイッチ番号になります。

# 取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

## アースコード(黒線)の接続について

確実にアースコードを接続させてください。

### ⚠ 注意

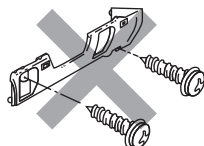
アースコードの接続が不完全ですと、本機の動作が不安定になり大変危険です。リモコンによるエンジン始動が行われない、突然エンジンが止まる、走行中に突然本機が動作を始めるなど予期せぬ事故や故障の原因にもなりかねません。誤動作を防止するために必ず確実にアースコードを接続してください。

※アースの配線は、誤動作を防止する為にも確実に接続してください。

特に最近の車種は、軽量、防錆のために車両金属部がメッキ、塗装等で、伝導率が低いものを使用しているため、アースされていないネジ、金属がたくさんあります。十分ご確認のうえ、アースコードの接続を行ってください。

### 取付けに適している場所

- バッテリーマイナス端子
- 車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)



### 取付けに適さない場所

- アンダーダッシュやセンターコンソール等樹脂を止めているネジ(タッピンネジ等)
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)する金属部分。

## 配線処理について

すべての取付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。

### ■ インシュロックタイによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに付属のインシュロックタイを用いて共締めします。余分なケーブルは短くせず、束ねて共締めしてください。

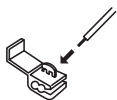


### ■ L端子の配線処理についてピラーとドアの隙間から車内にコードを引き込んだ場合 ドアの開閉時にコードが噛まないようにして処理してください。

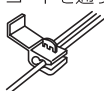
### ■ 使用しないコードはショートしないように必ずビニールテープ等で絶縁し、束ねてください。

安全装置・L端子コードなどの接続はエレクトロタップを使用します。

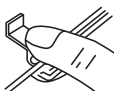
1. コードを入れる



2. 車体側の接続コードを通す



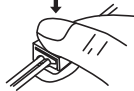
3. 仮止めをする



4. プライヤー等で金具を押し込む



5. カバーをする



取付け方法

アースコード(黒線)の接続について

# 取付け方法（セーフティシステム）

## オートセーフティ学習機能

この機能はシフトポジションがPまたはN以外の時、本機でエンジンを始動する事ができず、またエンジンが本機によるアイドルリング中にシフトレバーがPまたはN以外の位置になるとエンジンを強制停止し安全を確保します。

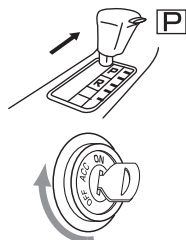
### ⚠重要

このオートセーフティ学習機能の設定を行われていないと全ての機能が使用できません。必ず設定をしてください。

また、下記のような場合は、設定がすべて解除されます。必ずオートセーフティ学習機能の再設定を行ってください。  
・車の修理、点検などでバッテリーをはずした。  
・カーナビやオーディオの取付けなどにより本体やハーネスまたはアースを一時的にでもはずした。  
・古くなったバッテリーや大容量の電装品の使用などでバッテリー容量が不足し、電圧が下がりがすぎた状態のバッテリーを使用している場合。

本体から「ピピッ、ピピッ、…」音が鳴り続け、モニターランプが点滅しています。

※シフトレバーがPの位置にあることを確認します。



1. イグニッションキーをONにして下さい。  
本体からの音が「ピピピッ、ピピピッ、…」に変わります。  
※エンジン始動は行わないでください。

2. シフトレバーをPからRにします。  
本体からの音が「ビー、ビー、…」に変わります。  
※必ずフットブレーキを踏んで操作してください。  
※音が変わらない場合、5.へ進んでください。



3. シフトレバーをRからPに戻します。  
本体からの音が「ビーピピッ」となり認識終了です。  
※音が変わらない場合、5.へ進んでください。



4. イグニッションキーをOFFにして下さい。→ **設定終了**

5. 2.3.で本体の音が変わらない場合は、ブレーキ配線を行ってください。  
シフトレバーをPに戻し、イグニッションキーをOFFにして、ブレーキ配線を行ってください。  
配線後、本体のセットスイッチ3をON ↓ にしてください。

- 1) キーをONの位置にします。本体からは「ピピピッ、ピピピッ、…」と音が鳴ります。
- 2) 約3秒以上たったら、キーをACCの位置にします。音が「ブブッ、ブブッ、…」に変わります。
- 3) キーをONの位置にします。  
「ブブブ、ブー、ブブッ、ピッ」と音が鳴り、設定終了です。

# 取付け方法（セーフティシステム）

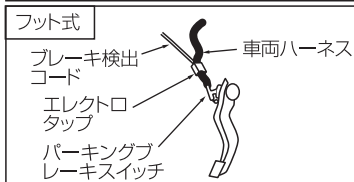
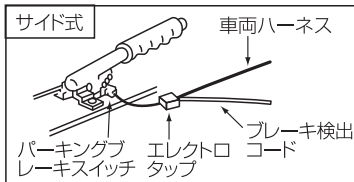
## ブレーキ検出の配線

この機能はパーキングブレーキが解除されていると本機によるエンジンの始動ができません。また、エンジンが本機によるアイドリング中にパーキングブレーキを解除するとエンジンを強制停止します。パーキングブレーキへ配線した場合にはフットブレーキを踏む事で本機によるアイドリングを強制停止します。

車両のフットブレーキまたは、パーキングブレーキスイッチから出ているコードにブレーキ検出コード（灰色）を付属のエレクトロタップで接続します。

### ■パーキングブレーキコードの探し方

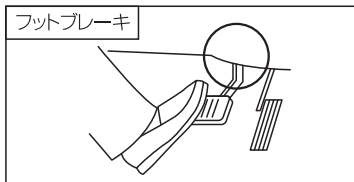
- ①パーキングブレーキ周辺のカバーを取り除きます。
  - ②パーキングブレーキの付け根に付いているスイッチを探し、そのスイッチから出ているコードを探します。
- パーキングブレーキコードが1本の場合  
右図のようにパーキングブレーキスイッチから出ているコードに接続します。
- パーキングブレーキコードが2本の場合
- ①キーをONの位置にします。
  - ②検電テスターなどでパーキングブレーキをかけた状態で0V、解除した状態で12Vになるコードを探しそのコードに接続してください。



### ■フットブレーキコードの探し方

※寒冷地などではパーキングブレーキを使用せずフットブレーキへの配線をお勧め致します。

- ①フットブレーキスイッチはブレーキペダルアームの根元付近にあります。
- ②検電テスターなどでブレーキスイッチから出ているコードを見つけブレーキを踏んだ時12V、踏まない時に0Vになるコードを探し、そのコードに接続してください。（車のストップランプを点灯させるためのコードです。）



配線を行った場合は必ず本体セットスイッチ3をON↓にしてください。

※配線を行った後、本体セットスイッチの設定を行わないとこの機能を使うことができません。



### ボンネットセンサーの配線

別売のボンネットセンサーの取付けを行うと、ボンネットが開いているときにリモコンでのエンジン始動は行われず、作業中などの安全を確保します。

配線を行った場合は必ず本体セットスイッチ4をON↓にしてください。

※配線を行った後、本体セットスイッチの設定を行わないとこの機能を使うことができません。



取付け方法についてはボンネットセンサー添付の取扱説明書をお読みください。

# 取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

## グロータイムの設定（ディーゼル車のみ）

本機をディーゼル車に取付けた場合には、グロータイム（5秒）を設定します。

ディーゼル車に取付けた場合は必ず本体セットスイッチ2をON↓にしてください。

※お車がクイックグロー車の場合は、この設定は必要ありません。



## ドアロックの配線

別売のドアロック用オプションの配線を行うと、本機のリモコンでドアロック（施錠）・アンロック（解錠）ができます。

取付け方法については各ドアロック用オプション添付の取扱説明書をお読みください。

## エンジンスターターの動作テスト

配線および設定終了後、動作テストを行います。

- ① リモコンに電池を入れてください。→（P22参照）
- ② 車載アンテナを接続してください。
- ③ それぞれの配線が正しく行われていることを確認してください。
- ④ シフトレバーを P（パーキング）にしてください。
- ⑤ パーキングブレーキをかけてください。
- ⑥ ボンネットを閉めてください。
- ⑦ リモコンにてエンジンを始動してください。→（P29参照）
- ⑧ リモコンにてエンジンを停止させてください。→（P29参照）

■ 本体から「ビピピピピピピ」と鳴って、エンジン始動ができない場合には、セーフティシステムが動作してエンジン始動ができない状態です。配線、設定を確認して下さい。→（P17,18参照）

● 本体から「ビピッ、ビピッ…」と音が鳴りつづけている場合には、オートセーフティ学習機能またはブレーキ検出が配線設定されていない状態です。→（P17参照）

■ 下記の症状が出た場合、必要に応じて配線・設定を行ってください。

● セルモーターが引きずる。（エンジン始動がされてもセルモーターが余計に動作する。）

→（P20,23参照）

● エンジン始動時にセルモーターが早めに止まってしまう。→（P20,23参照）

● アイドリング途中でエンジンが止まる。

→ L端子検出コードの配線（P20参照）

※ 本機リモコンでエンジンを始動しキーを「ON」にした場合、強制停止（セーフティシステム、リモコンによる停止操作）を行わない限り、設定アイドル時間内（15分/30分/45分）は、キーを「OFF」にしてもエンジンは停止しません。安全の為に必ずセーフティシステムの配線、設定を行って下さい。

# 取付け方法

作業上わからないことや、ご不明な点がございましたら、最寄のお客様相談窓口またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

## L端子検出コード(始動信号検出コード)の配線

リモコンでエンジンを始動した時に、次の症状が出た場合で、セルモーター動作時間設定セルモーター学習機能を行っても解消されない場合に配線・設定が必要となります。

- セルモーターの引きずり。
- エンジン始動前にセルモーターが止まってしまう。
- アイドリングの途中でエンジンが止まってしまう。

車両のL端子コードに、L端子検出コード(緑色)を付属のエレクトロタップで接続します。

### ■L端子の探し方

テスターでエンジンルーム内の発電機(オルタネーター)から出ているコード(バッテリーに行く太いコードではありません)のうち、イグニッションキーONで1V弱、エンジン始動後12Vの出るコードを探します。これがL端子です。

L端子配線方法の詳細情報は、FAX情報サービス「おたすけ箱」で取り寄せてください。(P14参照)

配線を行った場合は必ず本体セットスイッチ1をON↓にしてください。

※配線を行った後、本体セットスイッチの設定を行わないとこの機能を使うことができません。



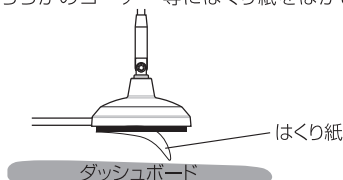
取  
付  
け  
方  
法

信  
号  
検  
出  
コ  
ー  
ド  
(  
始  
動  
線  
動

## 車載アンテナの取付け方法

アンテナコードを本体のアンテナコネクタに接続します。

運転中の視界の妨げとならないダッシュボードのどちらかのコーナー等にはくり紙をはがし確実に取付けてください。



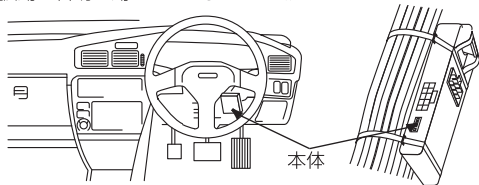
■参考 取付ける場合は、以下のような場所は避けてください。

- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 不安定な場所。
- エアバッグの近く

## 本体の取付け方法

運転の妨げとならないように、アンダーカバーの内部などにしっかりと固定します。

※走行中の振動で容易に動かないようにしてください。



車両の配線などと一緒に付属のインシュロックタイ(大)でまとめて固定します。

■参考 取付ける場合は、以下のような場所は避けてください。

- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。

# ご使用にあたって

本機のご使用にあたっての注意点です。

## リモコンエンジンスターターについて

本機の基本的な動作 エンジン始動の場合



①アンテナを十分に伸ばし、エンジン始動操作のボタンを押します。

②エンジン始動操作信号



③エンジン始動開始



設定された時間アイドリングを行います。

## 走行する時は

- アイドリング時間中に走行を開始する時は、必ず1度リモコンにてエンジン停止操作を行い、再度お車のキーにてエンジンを再始動させて走行してください。  
※不要なトラブル、重大な事故の原因となります。
- アイドリング時間内では、1度キーをONにした後、OFFにしてもエンジンは停止せず、アイドリング時間経過後、自動的に停止します。エンジンを停止させるにはリモコンでエンジンを停止するか、セーフティシステムによる強制停止が必要です。

## リモコン操作の注意点

1. **イモビライザー機能解除・ドアアンロック（解錠）操作を行ったら**  
本機には、イモビライザー機能解除・ドアアンロック（解錠）操作の履歴機能が付いているため、各操作後のボタン操作時に通常操作よりも長いボタン操作が必要となります。リモコンのボタン操作時には、本文中で指定されている音が出るまで、確実にボタンを押してください。（31、34ページ参照）
2. **リモコンのアンテナについて**  
リモコンを操作する時には、必ずアンテナを十分に伸ばしてください。縮めた状態ですと、電波の送信距離が極端に短くなります。
3. **本文中のボタン操作の表現**  
『「・・・ボタン」を「○○」と鳴るまで押してください。』の場合は、指定されている音が出るまで確実にボタンを押してください。  
※ボタンを押した時には「ピッ」または「ブッ」と音が出ます。
4. **送信距離について**
  - ・リモコンの送信距離は、見通しで最大3,000m、市街地で最大700mです。
  - ・地下、鉄筋コンクリートの建物内部などは、通信が不安定になるため、操作にあたっては十分にご注意ください。
  - ・天候、使用状況や周囲の環境などによっては、送信の距離が極端に短くなったりする場合があります。
  - ・高圧送電線の近くでは、送信できない場合があります。
5. **ボタン操作の注意**  
リモコン送信後のボタン操作は、モニターランプが点灯中または消灯直後には、信号送信中の為ボタン操作できません。少し間をあけてボタン操作を行ってください。

# リモコン電池の交換方法

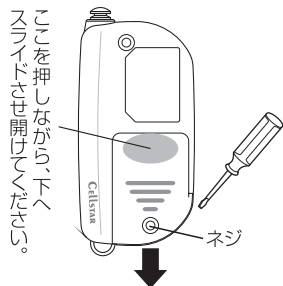
電池がなくなってくると、リモコンの送信などに影響がでます。こまめに交換をしてください。

## リモコン電池の交換方法

### 1. リモコンの電池ふたを開けます。

プラスドライバーを使用し、電池ふたのネジをゆるめ、外してからふたを開けてください。  
※ 〇の辺りを押しながら開けてください。

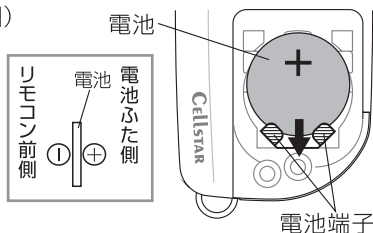
⚠ 電池ふたは、開けにくい場合があります。  
角などで手を傷つけないよう、ご注意ください。



### 2. 電池を入れます。

右図のように⊕プラス面を電池ふた側に向け、電池端子が手前になる様に入れてください。(リチウム電池CR1616×1個)  
※ふたを開けると、ゴムパッキン(黒)があります。  
なくさない様ご注意ください。

⚠ 電池のプラスとマイナスの向きを正しく入れます。



### 3. 電池ふたを閉めます。

ネジを締めてください。

⊘ 長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜いて保管してください。  
※液漏れをおこし、故障の原因になる可能性があります。

⊘ 水につけたり、水をかけたり、又、濡れた手では絶対操作しないで下さい。  
※火災や感電、故障の原因となります。

### ⚠ 電池の交換時期について

- 本機に付属の電池は、取付け時の動作確認用です。  
実際の使用にあたっては新しい電池をご使用ください。
- 約6ヶ月を目安に、新しい電池と交換してください。  
※電池の寿命は、使用頻度・条件などにより異なります。
- 電池の寿命が近づくと、各種ボタン操作ができなくなります。お早めの交換をお勧めします。

### ⚠ 電池の取扱いについて

- 充電・ショート・分解・改造はしないでください。
- 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
- 他の金属や電池と混ぜないでください。
- 濡らさないでください。  
※発熱・発火・破裂・火災・感電の原因になります。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。  
※万が一お子様が飲み込んだ場合は、医師にご相談ください。  
※廃棄や保管はテープを巻き付けて絶縁してください。

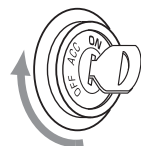
# リモコン設定機能

リモコン／本体

リモコンでエンジン始動した場合に、セルモーターが引きずったり、セルモーターの動作時間が短く、エンジン始動ができない場合に使用します。

## セルモーター動作時間設定・セルモーター学習設定

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

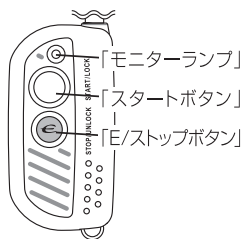


1. キーシリンダーにキーを差し込み、ONの位置にした状態で操作します。(エンジンはかけないでください)

2. 「スタートボタン」「E/ストップボタン」を同時に「ピッピッ」と鳴るまで押します。「ブブ、ブブ、…」という音と「モニターランプ」が点滅をつづけます。(約30秒間)

30秒以内につぎの操作をしてください。

※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、1.からもう一度操作を行ってください。ボタン操作を行わず、30秒を経過した場合、リセット(初期状態)になります。



3. 「スタートボタン」を押して設定を変えます。押すたびに設定時間が変更され、リモコン設定音でお知らせします。

| セルモーター制御   | リモコン設定音     | 本体設定終了音    |
|------------|-------------|------------|
| 約0.3秒延長    | ピッ、ピッ、…     | ブッ         |
| 約0.5秒延長    | ピピッ、ピピッ、…   | ブブッ        |
| セルモーター学習設定 | ピピピッ、ピピピッ、… | ブブブッ、ブブブ、… |

4. 「E/ストップボタン」を「ブブブ」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が点灯し、設定内容を本体に送信します。

送信後、本体から本体設定終了音(手順3.の表)が鳴ります。

- ”セルモーター動作時間設定”を設定の場合は5.へ  
”セルモーター学習設定”を設定の場合は6.へ進みます。

5. キーを「OFF」にして終了です。

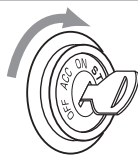
# リモコン設定機能

リモコン／本体

リモコンでエンジン始動した場合に、セルモーターが引きずったり、セルモーターの動作時間が短く、エンジン始動ができない場合に使用します。

## セルモーター動作時間設定・セルモーター学習設定

6. "セルモーター学習設定" の場合は4.の操作後、本体から約30秒間「ブブブ、ブブブ、…」と音が鳴ります。本体から音が鳴っている間に、キーでエンジンを始動させてください。「ブー、ブッ」と鳴り、設定されます。  
→キーを「OFF」にして終了です。  
※この時のセルモーターの動作時間が記憶されます。



### ボタン操作を誤った場合

途中でボタン操作を誤った場合は、「E/ストップボタン」を押してください。操作前の状態にもどります。

### リセット方法（初期状態）

リモコン操作を行い、「セルモーター学習設定」手順6.の本体から「ブブブ、ブブブ、…」と音が鳴っている間にキーをOFFにしてください。本体から「ブブブブブブブ」と音が鳴り、リセットされます。

※セルモーター動作時間設定は「設定チェック方法」で確認することができます。（P27参照）

### セルモーター動作時間設定

セルモーターの動作時間が短く、エンジンが始動できない場合に約0.3秒または約0.5秒延長させる事ができます。

### セルモーター学習設定

セルモーターの動作時間が短く、エンジンが始動できない場合や、動作時間が長くセルモーターを引きずっている場合にセルモーター学習設定を行います。  
キー操作でエンジン始動した時間を記憶し、その時間でエンジンを始動します。

リモコン設定機能

セルモーター動作時間設定・学習設定

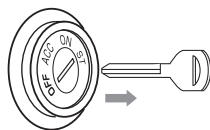
リモコン操作によりアイドリング時間を選択設定することができます。

## アイドリング時間設定

工場出荷状態は「15分」に設定されています。

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

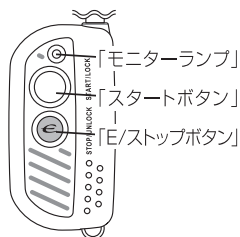
1. キーシリンダーからキーを抜いた状態またはOFFの位置にした状態で操作してください。



2. 「スタートボタン」「E/ストップボタン」を同時に「ブッピー」と鳴るまで押します。「ブブ、ブブ…」という音と「モニターランプ」が点滅をつづけます。(約30秒間)

30秒以内につぎの操作をしてください。

※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、1.からもう一度操作を行ってください。



3. 「スタートボタン」を押して設定を変えます。押すたびに設定時間が変更され、リモコン設定音でお知らせします。

| 時間   | リモコン設定音    | 本体設定終了音 |
|------|------------|---------|
| 約15分 | ピッ、ピッ…     | ブッ      |
| 約30分 | ピピッ、ピピッ…   | ブブッ     |
| 約45分 | ピピピッ、ピピピッ… | ブブブッ    |

4. 「E/ストップボタン」を「ブブー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が点灯し、設定内容を本体に送信します。

送信後、本体から本体設定終了音（手順3.の表）が鳴ります。

### ボタン操作を誤った場合

途中でボタン操作を誤った場合は、「E/ストップボタン」を押してください。操作前の状態にもどります。

※アイドリング時間の設定状態は「設定チェック方法」で確認することができます。(P27参照)

# リモコン設定機能

リモコン／本体

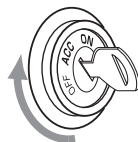
リモコン操作によりターボタイマー機能を設定することができます。

## フルオートターボタイマー機能設定

工場出荷状態は”OFF”に設定されています。

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、ACCの位置にした状態で操作します。



2. 「スタートボタン」「E/ストップボタン」を同時に「ブッピッ」と鳴るまで押します。「ブブ、ブブ…」という音と「モニターランプ」が点滅をつづけます。(約30秒間)

30秒以内につぎの操作をしてください。

※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、1.からもう一度操作を行ってください。

3. 「スタートボタン」を押して設定を変えます。押すたびに設定時間が変更され、リモコン設定音でお知らせします。



| ターボタイマー機能 | リモコン設定音    | 本体設定終了音 |
|-----------|------------|---------|
| OFF       | ブッ、ブッ…     | ブッ      |
| オート(最大3分) | ブブッ、ブブッ…   | ブブッ     |
| 約1分       | ブブブッ、ブブブッ… | ブブブッ    |

### ●オート時の目安

| 走行時間  | タイマー |
|-------|------|
| 1分未満  | 10秒  |
| 約15分  | 30秒  |
| 約30分  | 1分   |
| 約60分  | 2分   |
| 90分以上 | 3分   |

4. 「E/ストップボタン」を「ブッー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が点灯し、設定内容を本体に送信します。

送信後、本体から本体設定終了音(手順3.の表)が鳴ります。

→キーを「OFF」にして終了です。

### ボタン操作を誤った場合

途中でボタン操作を誤った場合は、「E/ストップボタン」を押してください。操作前の状態にもどります。

※ターボタイマー機能の設定状態は「設定チェック方法」で確認することができます。(P27参照)

リモコン設定機能

フルオートターボタイマー機能設定

# リモコン設定機能

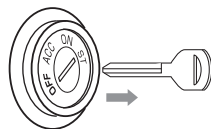
リモコン／本体

リモコン操作でアイドリング時間やターボタイマー機能、セルモーター動作時間の設定状態を音で確認することができます。

## 設定チェック方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーからキーを抜いた状態またはOFFの位置にした状態で操作してください。

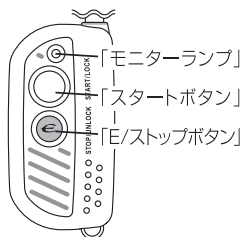


2. 「スタートボタン」「E/ストップボタン」を同時に「ピッピー」と鳴るまで押します。「ブブ、ブブ、…」という音と「モニターランプ」が点滅をつづけます。(約30秒間)

30秒以内につぎの操作をしてください。

※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、1.からもう一度操作を行ってください。

3. 「スタートボタン」を「ビッピー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が点灯し、設定内容を本体に送信します。

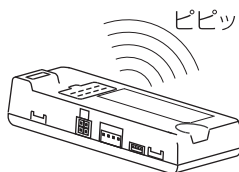


同時に本体から音が鳴り設定内容をお知らせします。

以下のような順番で続けて音が鳴ります。

※セルモーター制御は、工場出荷状態では「ブー」とだけ鳴ります。

- “ピー”、「アイドリング時間設定音」
- “ブー”、「ターボタイマー機能設定音」
- “ブー”、「セルモーター動作時間設定音」または「セルモーター学習設定音」の順に音がでます。



### 【例】

- ・アイドリング時間設定が “30分”
- ・ターボタイマー機能設定が “オート”
- ・セルモーター動作時間設定で “延長0.3秒” の場合

- “ピー”、「ピピッ」
- “ブー”、「ブブッ」
- “ブー”、「ブッ」

## リモコン操作無効機能

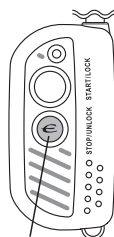
リモコン

リモコンボタンにロックをかけることで、誤作動の防止につながります。

### リモコン操作無効の設定方法

■「E/ストップボタン」を「ブッ、ブー、ブブ」和鳴るまで約5秒間押すと、リモコンボタン操作が無効になります。

リモコンボタン操作を有効にする場合は、同様に「E/ストップボタン」を「ブッ」と鳴る（復帰）まで約5秒間、押します。



「E/ストップボタン」

## リモコンの取扱い上の注意

リモコン

リモコンのボタンを操作する時に、ボタン操作が受け付けられない場合があります。次の方法で確認してください。

### ボタン操作受け付けの確認方法

- いずれかのボタンを押した時に「ピッ」と音がでる。  
→ボタン操作受け付けが可能な、通常操作状態です。
- ボタンを押しても音が出ない。  
→1：ボタン操作無効となっている時  
「スタートボタン」を約3秒以上ボタンを押し続けても「ピッ」と鳴りません。  
→2：イモビライザー機能解除操作履歴またはドアアンロック操作履歴が残っている時  
「スタートボタン」を約3秒間押し、その間に「ピッ」と鳴り履歴が残っていた事を確認する事が出来ます。  
※上記の確認操作を行うと、履歴が解除されますので、ご注意ください。  
(31、34ページ参照)

リモコン  
操作無効機能

設定方法  
リモコン  
操作無効の



本機リモコンは生活防水仕様ですが、水につけたり、水をかけたり、ぬれた手では絶対操作しないでください。

# エンジンの始動・停止操作

リモコン

リモコン操作でお車のエンジンをかけることができます。または、エンジンを止めることができます。

## エンジンのかけ方

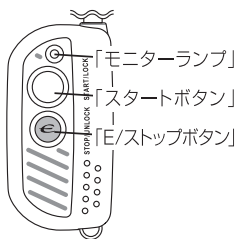
リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「E/ストップボタン」を「プッ」と鳴るまで押し、指をはなすと「モニターランプ」が約3秒間点滅します。

2. 「モニターランプ」の点滅中に「スタートボタン」を「ピッピ」と鳴るまで押しと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



エンジンが始動します。



※アイドリング中は、本体から「ピー、ピー…」と音が出て、本機が動作中である事をお知らせします。

※アイドリング中にセーフティシステムが動作して、本機の動作が停止した場合は、本体から「ピピピピピピピ」と音が出ます。

### スリープライ機能

1回目では始動しない場合、自動であと2回の始動を行ないます。3回目の動作でも始動しない場合は、「ピピ…」と本体が鳴り強制的にストップします。

- ① 走行するときは、リモコンでいったんエンジンを停止させてから、必ずキーでエンジンを再始動させてください。思わぬ大事故の原因となります。

## エンジンの止め方

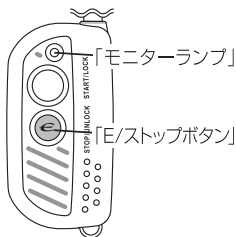
リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「E/ストップボタン」を「プッ」と鳴るまで押し、指をはなすと「モニターランプ」が約3秒間点滅します。

2. 「モニターランプ」の点滅中に「E/ストップボタン」を「プッ」と鳴るまで押しと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



エンジンが停止します。



### 注意

※キーがACCやONの位置になっているとエンジンの始動はいたしません。



エンジンの始動・停止操作

エンジンのかけ方

# イモビライザー機能

お車のキーでもエンジンを始動させることができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。

## イモビライザー機能の注意点

- 本機リモコンドアロック機能に連動しますが、ドアロック用オプションの接続を行わない場合でも、イモビライザー機能は単独で使用していただけます。
- 本機リモコンでのドアロック操作で設定、ドアアンロック操作で解除になります。
- イモビライザー機能が設定されている状態では、本機リモコンのドアアンロック操作をしない限り、お車のキーを使用してもエンジンを始動することはできません。
- お車のキーや、純正ドアロックリモコンなどで、イモビライザー機能を解除することはできません。
- キーが**ON**や**ACC**の位置にあるときに、イモビライザー機能を設定/解除させることはできません。
- フルオートターボタイマー機能が設定されている場合は、ターボタイマーが終了した後にイモビライザー機能が設定されます。
- イモビライザー機能が設定、解除状態のどちらであっても、本機リモコンでエンジン始動、停止を行うことができます。

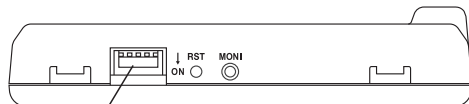
**⚠**イモビライザー機能は車両盗難に対して有効な手段の1つですが、お車を車両盗難から完全に守れるわけではありません。  
本機の使用状態にかかわらず、万一盗難などの被害、損害等が発生しても弊社は一切の責任を負いかねます。またその場合の弊社補償なども一切ありません。

### 重要

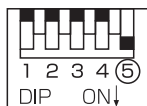
※万が一、リモコンをなくしたり、解除操作を行ってもイモビライザー機能が解除されない場合は、キー操作によるイモビライザー強制解除を行ってください。この時キーがONの位置にあると解除できませんので、ご注意ください。

## イモビライザー機能使用の選択方法

本体セットスイッチ5をON↓にして、イモビライザー機能を使用可能な状態にします。



「セットスイッチ」



1. 本体セットスイッチ5をON↓にしてください。
2. リモコンでドアロックの操作をしてください。  
※解除はアンロック操作になります。

# イモビライザー機能

お車のキーでもエンジンを始動させることができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。

## イモビライザー機能の設定操作方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「スタートボタン」を「ピーー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



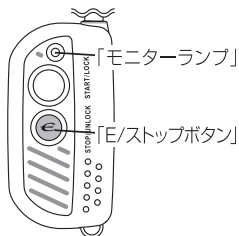
実際の動作:キーでエンジンを始動しようとする(キーをOFFの位置にする)本体から「ピー」と音が鳴りつづき、エンジンの始動ができません。



## イモビライザー機能の解除操作方法(履歴機能付)

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「E/ストップボタン」を「ブザー」と鳴るまで押し、指をはなすと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



### ○履歴機能

イモビライザー機能には、解除履歴機能が付いています。この機能は、イモビライザー機能解除操作後のボタン操作時に、通常操作よりも長めのボタン操作を必要とさせる(履歴)事でイモビライザー機能解除操作が行われた事を確認出来る機能です。

#### 履歴解除方法(マニュアル解除)

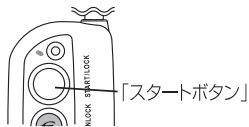
この履歴を解除し、ボタン操作を通常操作に戻すには、「スタートボタン」を「ピッ」と鳴るまで押します。

※「E/ストップボタン」を「ピッ」鳴るまで押す事でも解除する事が出来

ますが、この場合エンジン始動、停止操作(29ページ手順1の状態)となりますので注意が必要です。

#### 履歴解除方法(自動解除)

ボタン操作を確実に指定された音(「ピッ」、「ピーー」など)が鳴るまで通常操作よりも少し長めにボタンを押すことで自動的に履歴は解除されます。



### 注意

※キーがACCやONの位置になっているとイモビライザー機能の設定はできません。

※"イモビライザー機能"は本機リモコンのドアロック・アンロック操作に連動します。

※本体「セットスイッチ5」がON↓の状態でないといモビライザー機能を使用できません。

※ドアロック用オプションを取り付けていなくとも、イモビライザー機能は使用できます。



# イモビライザー機能

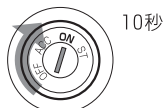
お車のキーでもエンジンを始動させることができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。

## イモビライザー機能の強制解除方法

イモビライザー機能の設定中にリモコンを無くした、リモコンの電池が無くなったなどの場合強制的にイモビライザー機能を解除して、エンジンの始動を行うことができます。

※本体セットスイッチ5をOFF ↑ にして解除することもできます。

1. イグニッションキーを10秒以上「ON」の位置にします。  
本体のブザー音が「ピー」と鳴ります。



2. イグニッションキーを5秒以上「OFF」の位置にします。  
本体のブザー音は「ピー」と鳴り続けています。



3. イグニッションキーを「ON」の位置にします。  
本体のブザー音が止まります。  
そのまま5秒以上お待ち下さい。



4. イグニッションキーを「OFF」の位置にします。



5. イグニッションキーを「ON」の位置にします。



6. イグニッションキーを「OFF」の位置にします。  
「ビッ」と鳴ります。



**解除操作終了**です。

7. キーでエンジンがかかる事を確認して下さい。



素早く行ってください

イモビライザー機能  
強制解除方法

# ハザードチェック機能

オプション

リモコン操作で、エンジンがアイドリング中か停止中かをお車のハザードランプで確認できます。※この機能は、オプションのハザードアダプターを取付けた時に動作します。

## アイドリングチェック方法

リモコンでエンジン始動操作を行った後、アイドリング中に、再度リモコンでエンジン始動操作を行うと、お車のハザードランプでアイドリング中であることをお知らせします。

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

### エンジン始動操作をします。

1. 「E/ストップボタン」を「プッ」と鳴るまで押し、指をはなすと「モニターランプ」が約3秒間点滅します。
2. 「モニターランプ」の点滅中に「スタートボタン」を「ピッピー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



お車のハザードランプが3回点滅します。



### 注意

※エンジン停止中にリモコンでアイドリングチェック操作を行うと、エンジンの始動をしお車のハザードランプは点滅しません。

## エンジン停止チェック方法

エンジン停止中に、リモコンでエンジン停止操作を行うと、お車のハザードランプでエンジン停止中をお知らせします。

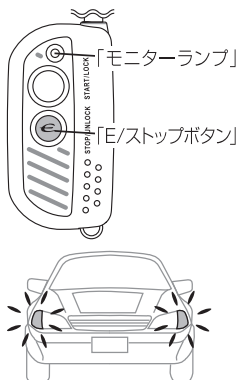
リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

### エンジン停止操作をします。

1. 「E/ストップボタン」を「プッ」と鳴るまで押し、指をはなすと「モニターランプ」が約3秒間点滅します。
2. 「モニターランプ」の点滅中に「E/ストップボタン」を「プッー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



お車のハザードランプが3回点滅を2回繰り返します。



### 注意

※エンジンアイドリング中にリモコンでエンジン停止チェック操作を行うと、エンジンの停止をし、お車のハザードランプは点滅しません。

# リモコンドアロック機能

オプション

リモコン操作でお車のドアをロックまたは、アンロックすることができます。

※この機能は、ドアロック用オプションを取付けた時に動作します。

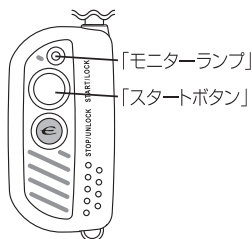
## ドアロック（施錠）の仕方

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「スタートボタン」を「ピーピー」と鳴るまで押すと  
「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



ドアロック



## ドアアンロック（解錠）の仕方（履歴機能付）

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

※アンロックはお車の近くで操作してください。

1. 「E/ストップボタン」を「ブザー」と鳴るまで押すと  
「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



アンロック



## ○履歴機能

本機のドアアンロックには、ドアアンロック操作履歴機能が付いています。この機能は、ドアアンロック操作後のボタン操作時に、通常操作よりも長めのボタン操作を必要とさせる（履歴）事でドアアンロック（解錠）操作が行われた事を確認出来る機能です。

### 履歴解除方法（マニュアル解除）

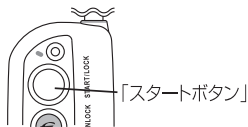
この履歴を解除し、ボタン操作を通常操作に戻すには、  
「スタートボタン」を「ピッ」と鳴るまで押します。

※「E/ストップボタン」を「ピッ」鳴るまで押す事で履歴解除する事が出来

ますが、この場合エンジン 始動、停止操作（29ページ手順1の状態）となりますので注意が必要です。

### 履歴解除方法（自動解除）

ボタン操作を確実に指定された音（「ピッ」、「ピーピー」など）が鳴るまで通常操作よりも少し長めにボタンを押すことで自動的に履歴は解除されます。



## 注意

※キーがACCやONの位置になっているとリモコンドアロック機能の設定はできません。

※本機リモコンの”リモコンドアロック・アンロック操作”はイモビライザー機能に連動します。

※本機ドアロック機能は純正ドアロック機能とは異なります。

したがって、お車のキーまたは純正ドアロックリモコンで操作を行った場合、本機ではその操作を認識できません。また、本機リモコンでのドアロック操作では、お車のリロック機能やドアロックコールバック機能などは動作いたしませんのでご注意ください。

※車面のバッテリー上がりやリモコンの電池切れなどの場合、リモコンで、ドアをアンロックすることができません。お車のキーは必ず携帯してください。

# ドライブセーフティドアロック機能

オプション

エンジン始動後シフトレバーを動かすとドアロックし、キーが「ON」の位置以外（エンジン停止）になるとドアアンロックする機能です。※この機能は、ドアロック用オプションを取付けた時に動作します。

## ドライブセーフティドアロック機能の設定方法

工場出荷状態は「OFF」に設定されています。

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、ACCの位置にした状態で操作します。

2. 「スタートボタン」を「ピッピー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



本体から「ピッ」と鳴ります。

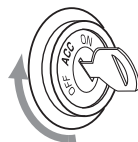
20秒以内に下記の操作をしてください。

※20秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、本体から「ビビビビビビビ」とエラー音が鳴ります。2.からもう一度操作を行ってください。

3. 「スタートボタン」を「ピッピー」と鳴るまで押すと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



本体から「ピコッ」と鳴ります。  
→キーを「OFF」にして終了です。



## ドライブセーフティドアロック機能の解除方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、ACCの位置にした状態で操作します。

2. 「E/ストップボタン」を「ブッパー」と鳴るまで押し、指をはなすと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



本体から「ピッ」と鳴ります。

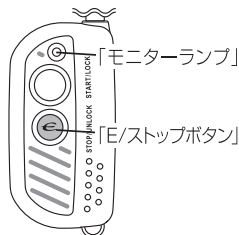
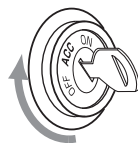
20秒以内に下記の操作をしてください。

※20秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、本体から「ビビビビビビビ」とエラー音が鳴ります。2.からもう一度操作を行ってください。

3. 「E/ストップボタン」を「ブッパー」と鳴るまで約3秒間押し、指をはなすと「モニターランプ」が約1秒間点灯します。



本体から「ピーピー」と鳴ります。  
→キーを「OFF」にして終了です。



注意

ドライブセーフティドアロック機能解除操作は、ドアアンロック操作と同様の操作を行う為、ドアアンロック操作履歴が残ります。手順3の操作後、34ページを参照して履歴を解除してください。

## ドライブセーフティドアロック機能

オプション

オートセーフティ学習機能が設定できない車両では、ドライブセーフティドアロック機能を使用できません。(アンロックは動作します)

### ドライブセーフティドアロック機能

エンジン始動後シフトレバーを動かすとドアロックし、キーが「ON」の位置以外になると(エンジン切る)とドアアンロックする機能です。

- ①本機リモコンからのエンジン始動後シフトレバーを「P」以外の位置にすると自動的にドアロック(施錠)します。



シフトレバーを動かすと  
ドアロック



- ②キーが「ON」以外になると(エンジンを切ると)自動的にドアアンロック(解錠)します。



キーが「ON」以外で  
アンロック



### 注意

※エンジン始動後、最初にシフトレバーを操作した時に自動的にドアロックします。2回目以降のシフトレバー操作では、自動的にドアロックしません。

※オートセーフティ学習機能が設定できない車両では、ドライブセーフティドアロック機能を使用できません。(アンロックは動作します)

※この機能は、ドアロック用オプションを取付けた時に動作します。

ドライブセーフティ  
ドアロック機能

ドライブセーフティ  
ドアロック機能

## コールバック機能

オプション

本機リモコンによるのドアロック・アンロック操作時に、お車のハザードランプが点滅してお知らせします。※この機能は、オプションのハザードアダプターを取付けた時に動作します。

### コールバック機能

本機リモコンから、ドアロック操作を行うとお車のハザードランプを1回点滅させアンロック操作を行うとハザードランプが2回点滅します。

※ハザードチェック機能を使用するには、オプション(別売)のハザードアダプターが必要です。



## スリープ機能

本機の消費電力を抑えて、お車のバッテリー上がりを防止します。

### スリープ機能

14日間お車のエンジンを始動させない場合に、本機がスリープモードに入り、消費電力を抑える機能です。

スリープモードに入っている場合

リモコン操作を受け付けません。(本機は動作しません。)

スリープモードを解除する方法

1度、お車のキーでエンジンを始動すると、スリープモードは解除されます。

## 修理・点検時の扱い方

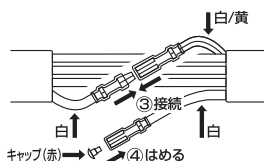
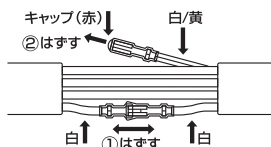
取付け後、点検・修理などで本体をはずす場合の方法になります。

### 本体のはずしかた

取付け後に修理・点検等で本体を外す場合、必ず行ってください。下記の処理を行わないと、お車のキーを使ってもエンジンがかかりません。

#### 本体のみをはずす場合

車種別専用ハーネスキットをお車に残して  
本体のみをはずす場合



- ①白線の途中にある(ギボシ)端子をはずす。
- ②白/黄線の(ギボシ)端子のキャップ(赤)をはずす。
- ③白線と白/黄線を接続する。
- ④外した白線の端子にキャップ(赤)をはめる。

#### 本体と車種別専用ハーネスキットをはずす場合

本体と車種別専用ハーネスキット  
を一緒にはずす場合

ハーネスをはずした後は、本機を取付ける前と同じ状態に戻してください。



再度取付けする場合は、必ず車種別専用ハーネスキットを元の状態にしてください。

※イモビライザー機能などが使用できなくなります。



お車の修理などで本体を外した場合やバッテリーを外した場合などにはオートセーフティ学習機能の設定が必要になります。また、リモコン設定機能での設定はリセットされますので、再設定が必要になります。

# 故障かな?と思ったら

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

| こんなとき                   | 調べるところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ページ                                                                            |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| リモコンが反応しない。             | <b>■リモコン</b><br>・電池が消耗していませんか。<br>・電池のプラスとマイナスを逆に入れていませんか。<br>・リモコン操作無効機能が「無効」に設定されてませんか。<br>・イモビライザー機能の解除操作を行いましたか。<br>・リモコンドアアンロック（解錠）操作を行いましたか。<br>・ドライブセーフティドアロック機能の解除操作を行いましたか。                                                                                                                                                                                  | 22<br><br>28<br>28, 31<br>28, 34<br>35                                         |
| エンジン始動操作をしてもエンジンがかからない。 | <b>■リモコン</b><br>・リモコン操作は正しく行いましたか。<br>・アンテナを十分伸ばしましたか。<br><b>■本体</b><br>・セーフティシステムの配線・設定を正しく行いましたか。<br>・接続コネクタに正しく差し込まれていますか。<br><b>■お車</b><br>・シフトレバーは P または N の位置にありますか。<br>・バッテリーが消耗してきていませんか。<br>・キーが ON または ACC の位置になっていませんか。<br>・セーフティシステムが動作していませんか。<br>・セルモーターの動作時間は適切ですか。<br>・パーキングブレーキはかけましたか。<br>（ブレーキ検出を配線した場合）<br>・ボンネットが開いていませんか。<br>（ボンネットセンサーを配線した場合） | 29<br><br>14, 17, 18<br>13<br><br>17<br><br>29<br>19<br>23, 24<br>18<br><br>18 |
| エンジン停止操作をしてもエンジンが止まらない。 | <b>■リモコン</b><br>・リモコン操作は正しく行いましたか。<br><b>■お車</b><br>・キーが ON の位置になっていませんか。<br>※車両ノイズの影響で、スタートの送信に比べ<br>ストップの通信距離が短くなる場合があります。                                                                                                                                                                                                                                          | 29<br><br>29                                                                   |
| リモコン操作のできる距離が短い。        | <b>■リモコン</b><br>・アンテナを十分伸ばしましたか。<br>・電池が消耗していませんか。<br>・アンテナに手などが触れていませんか。<br><b>■送信場所</b><br>・リモコンとお車の間に障害となる物はありませんか。                                                                                                                                                                                                                                                | 21<br>22<br><br>21                                                             |

# 故障かな？と思ったら

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

| こんなとき                                                                                                                         | 調べるところ                                                                                                                                                                                                                        | ページ                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| リモコン操作をしても本体が反応しない。<br>(本体からピピッ、ピピッと鳴り続けている)                                                                                  | <b>■本体</b><br>・本体、車種別専用ハーネスキット、アースのどれかをはずしませんでしたか。<br><b>■お車</b><br>・修理・点検でバッテリーをはずしませんでしたか。<br>・バッテリーが弱っていませんか。<br>・大容量の電装品の利用で一時的にでもバッテリー容量が不足し電圧が下がりがずかたことがありますか。<br><b>オートセーフティ学習機能が解除されています。<br/>必ず再設定してください。→17 ページ</b> | 14,17,37                 |
| リモコン操作をしても本体からなにも音がでない                                                                                                        | ・スリープモードに入っていないませんか。                                                                                                                                                                                                          | 37                       |
| ターボタイマーが作動しない。                                                                                                                | <b>■リモコン</b><br>・フルオートターボタイマー機能がOFFになっていませんか。                                                                                                                                                                                 | 26                       |
| キー操作でセルモーターが回らなくなった。                                                                                                          | <b>■本体</b><br>・本体のみをはずしたままになっていませんか。<br>・イモビライザー機能を設定したままになっていませんか。                                                                                                                                                           | 37<br>31                 |
| ドアロック/アンロックできない。<br><br>販売店の店頭、<br>当社ホームページ<br>( <a href="http://www.cellstar.co.jp">www.cellstar.co.jp</a> )<br>で適合をご確認ください。 | <b>■リモコン</b><br>・リモコン操作は正しく行いましたか。<br>・送信可能範囲内ですか。<br><b>■お車</b><br>・ドアロック適合車ですか。<br>・ドアロック用オプションは正しく接続されていますか。<br>・キーがONの位置になっていませんか。                                                                                        | 34<br>21<br><br>13<br>34 |
| ドライブセーフティドアロック機能が動作しない                                                                                                        | ・オートセーフティ学習機能は設定できますか。<br>※オートセーフティ学習機能が設定できない一部車両ではドライブセーフティドアロック機能を使用できません。<br>・エンジン始動後、最初にシフトレバーを操作した時に自動的にドアロックします。2回目以降のシフトレバー操作では、自動的にドアロックしません。<br>・設定は正しく行いましたか。                                                      | 17<br><br>35             |
| イモビライザー機能が動作しない。                                                                                                              | <b>■リモコン</b><br>・リモコン操作は正しく行いましたか。<br><b>■本体</b><br>・本体、車種別専用ハーネスキットを外しませんでしたか。<br>・セットスイッチ5がON↓になっていますか。                                                                                                                     | 31<br><br>37<br>30       |

## 故障かな？と思ったら

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

| こんなとき                                        | 調べるところ                                                                    | ページ               |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| イモビライザー機能が解除できない。                            | <b>■リモコン</b><br>・リモコン操作は正しく行いましたか。<br>・強制解除をしますか。<br>・リモコンの電池が消耗してきてませんか。 | 31<br>30,32<br>22 |
| 設定したアイドリング時間で作動しない。                          | ・設定は正しく行いましたか。                                                            | 25                |
| アイドリングが止まらない。                                | ・エンジン停止操作を行って下さい。                                                         | 29                |
| 本体のリセットスイッチを押した。                             | ・オートセーフティ学習機能の再設定が必要です。<br>・リモコン設定機能の再設定が必要です。                            | 17<br>23～26       |
| 本体を外した。<br>○エンジンがかからない。<br>○車両のドアロック機能が使えない。 | ・車種別専用ハーネスキットの接続を変えてください。<br>・各配線、アダプターを確認してください。                         | 13,37             |

# アフターサービスについて

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

## 保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げの日から3年間です。

## 修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況なるべく詳しくご連絡ください。

### ●保証期間中のかとき

保証書に販売店名、日付印がないと無効になります。

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

### ●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 部品の保有期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年間です。この期間は、経済産業省の指導によるものです。

## リモコンを紛失、破損したまたは追加したい場合

- 万が一、リモコンやアンテナユニットの紛失や破損した場合は、リモコンまたは車載アンテナのシリアルナンバーをお調べいただき、ご連絡ください。新たなリモコンと車載アンテナがペアになるようにIDコードを変更しなければなりません。新たなリモコン、車載アンテナの代金その他、技術基準適合証明手数料もご負担していただくようになりますので、くれぐれも紛失のないようお願い致します。また、リモコンを追加したい場合には、リモコンを1個まで追加する事ができます。

## リモコンをご購入頂く際に、身分証明書のコピーが必要となります。

本機には、イモビライザー機能が搭載されている為、セキュリティ面からお客様に身分証明書のコピー提出をお願いをしております。  
あらかじめご了承ください。

# アフターサービスについて

## アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社相談窓口にお問い合わせください。

## 各地のお客様相談窓口一覧

- |                              |                                                                       |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| ■北海道地区<br>北海道セルスター工業株式会社     | TEL.011-882-1225(代) FAX.011-881-7251<br>〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1     |
| ■東北地区<br>セルスター工業(株) 仙台営業所    | TEL.022-218-1100(代) FAX.022-218-1110<br>〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158   |
| ■関東地区<br>セルスター工業(株) 関東営業所    | TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106<br>〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32  |
| ■中部・北陸地区<br>中部セルスター工業株式会社    | TEL.0583-70-6325(代) FAX.0583-70-6328<br>〒509-0131 岐阜県各務原市つつじが丘8-161-1 |
| ■関西・中国・四国地区<br>関西セルスター工業株式会社 | TEL.0727-22-1880(代) FAX.0727-22-5575<br>〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-2-20      |
| ■九州地区<br>九州セルスター工業株式会社       | TEL.092-552-5252(代) FAX.092-552-5300<br>〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8   |
| ■セルスター工業株式会社<br>カスタマーセンター    | フリーダイヤル 0120-75-6867 TEL 046-275-6867<br>〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 |

●名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

# 仕様

## リモコン

適合技術基準： 特定小電力無線局 ARIB STD-T67  
送信周波数： 426MHz帯の10波の内1波  
通信方式： 片方向通信方式  
送信出力： 1mW以下  
アンテナ： ロッドアンテナ(194mm)  
動作温度範囲： -10℃～+60℃  
使用電池： リチウム電池 CR1616×1  
サイズ： 29 (W) ×12.5 (D) ×56 (H) mm <突起部含まず>  
重量： 20g <電池含む>

## 車載アンテナ

アンテナ： ラバーアンテナ(167mm)  
コード長： 2.5m  
サイズ： 41 (W) ×41 (D) ×194 (H) mm <アンテナ部含む>  
重量： 54g <コード含む>

## 本体

受信周波数： 426MHz帯の10波の内1波  
受信方式： スーパーヘテロダイン方式  
電源電圧： DC12V  
動作温度範囲： -20℃～+70℃  
サイズ： 136 (W) ×66 (D) ×29 (H) mm <突起部含まず>  
重量： 136g

\*改良等の為、本機の仕様・定格などを変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

製造総発売元

全国自動車用品工業会会員 ————— <http://www.cellstar.co.jp> —

**CELLSTAR**

**セルスター工業株式会社**

本社/〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106

PP-1133MN 2003.9